

花婿を迎えに出る用意

2020年5月24日

マタイ 25・1～13 十人のおとめ

序：結果は、準備・備えによって決まる

キリストの空中再臨、地上再臨に対する心備え

泥棒侵入に対して用心している人 マタイ 24・43～44

留守中の主人から管理を任された忠実な人 45～51

花婿を出迎える準備をしているおとめたち 25・1～13

タラントを活用した勤勉な人 14～30

今回は十人のおとめの喩え話

I. ユダヤ人の結婚

I. 第一段階	許嫁の段階→婚約受諾の段階→ 花嫁料(契約金)の段階→婚約の段階→結婚の契約の段階	創造主の選び、キリストの十字架の贖いによる支払い、将来における結婚契約
II. 第二段階	婚約期間の段階	キリストの花嫁
III. 第三段階	花婿が花嫁を迎えに行く段階	キリストの空中再臨(携挙)
IV. 第四段階	花婿と花嫁の婚礼の段階	キリストの小羊の婚礼
V. 第五段階	花婿と花嫁の婚宴の段階	キリストの地上再臨・千年王国

II. 10人の娘たちの喩えはいつのことを想定しているか

(1)第三段階＝花婿が花嫁を迎えに行く段階のこと

キリストの空中再臨・信者（教会）の携挙
大患難期の前に救出

ヘブル 9・28

キリストも、多くの人の罪を負うために一度ご自分を献げ、二度目には、
罪を負うためではなく、ご自分を待ち望んでいる人々の救いのために現れて
くださいます。

テサロニケ I 4・13～17

花婿が花嫁を迎える新居を用意したら、花婿の父は迎えに行くよう指示
花婿は直接花嫁の家に行き、花嫁の父の家から連れてきて、婚礼に導く
ヨハネ 14・1～4

(2)第五段階＝花婿と花嫁の婚宴の段階

キリストの地上再臨後・千年王国

第三と第五段階の間の第四段階＝花婿と花嫁の婚礼の段階がある

婚礼の出席者は両方の近親者、司式者が結婚成立を宣言

マタイ 25・10

……その間に花婿が来た。(携挙)

用意ができていた娘たちは彼と一緒に婚礼の祝宴に入り、戸が閉じられた。
(地上再臨・千年王国)

婚礼は多くの招待客が集い、1週間祝宴は続く

Ⅲ. キリストの空中再臨後の信者はどうなるのか

- (1)キリストの空中再臨（教会の携挙） テサロニケⅠ 4・13～17
 それがいつかは、父以外のだれも知らない
 いつその時がきても不思議ではない
- (2)キリストのさばきの座 コリントⅡ 5・10
 花嫁のきよめ
 救いか滅びかのさばきではなく、信者が地上で為した業に対する報酬
- (3)御座にいます小羊礼拝 黙示録 4・10
- (4)天での婚礼 19・6～8
- (5)キリストの地上再臨 19・11～16
- (6)小羊の婚宴 19・9～10
- (7)千年王国（キリストとともに治める） 20・4～6
- 招かれる人々：
 旧約時代の信仰の勇士たち
 〃 残りの民
 新約時代の聖徒たち
 大患難期の信者

Ⅳ. 花婿の到着を待つ娘たち

賢い（思慮深い）娘たち

愚かな娘たち

- 花婿の到着がいつになっても
 よいように心の準備をしていた
- 灯火の予備の油を用意して、
 万全を期した
- 花婿を出迎えて、彼とともに
 婚宴に入った

- 花婿がまさか夜中に到着するとは
 思わなかった
- 灯火の本体の油だけで事たれりと判断
 した（自分の感覚・常識）
- 花婿から「わたしはあなたがたを知らない」と拒否され、
 婚宴には入れなかった

信者

不信者

油を持つ：信仰あり

油を持たない：信仰なし

Ⅴ. 結び

- (1)見えない教会（天上の教会・聖なる公同の教会）のすべての信者はキリストの空中再臨時、携挙され、栄光のからだに復活し、千年王国に入り、さらに天の御国に入ることが約束されている。たとえ、見える教会（地上の教会、地域教会）の一員であっても、信仰がなければ救われていないから、以上の祝福にあずかれない。
- (2)旧約の信者と大患難期の信者は、空中携挙にあずかれないが、キリストの地上再臨後、よみがえって千年王国に入ることができる。

今、私たちはすでに神の選びとイエス・キリストの贖いの恵みにより、花婿との婚約期間を過ごしている。キリストは天、我らは地にあつて。
待ち望む信仰によって救われるのではない。御子イエスと彼を遣わしてくださった父を信じて救われた。約束とそれを与えてくださった方を信じて、義とされた。
信仰の油を絶やさずに、主の再臨を待ち望もう。